

第29回 熊地区文化展

【熊地区長からのご挨拶】



加藤 三樹

本年度の文化展は、スローガン「世代を超えてアートでふれあう」を掲げアートを通して世代を超えて多くの人がふれあえることを目指しました。そのスローガンを実現するため、事前に作品を作る場を設けて多くの方が出品するまた当日物作りを体験する場を設けて多くの方がアートにふれあえることを企画し運営しました。いかがでしたでしょうか？出品する有松絞りを作る場で、絞り方を教わったばかりの老壮会の方々が今度は自分たちが子ども会の子らの傍らに立って、手取り教えている姿を拝見しました。世代を超えてアートでふれあう姿に、目頭が熱くなってきました。ご来場くださいました皆様へ、また5か月かけて準備を重ねて来られた各会の皆様へ感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

【今年の目玉！有松絞り展示・体験主催者からのご挨拶】



石川 博史

有松絞は国内で後継者がおらず去年では3件廃業しているのが現状です。その背景として、後継者不足や着物離れがあり有松絞に危機を感じている昨今です。日本の代表的な伝統「有松絞」を後世に残そうとアメリカやヨーロッパに売り込み有名ブランドとのコラボやPremière Vision(世界最大級のファッション素材見本市)ニューヨークでの販売や商談で世界進出をしています。日本の文化ですが、量産には中国を中心に絞り技術や染工場に頼っており、国内での伝統が薄れてしまっているのは事実です。現在は愛知県絞工業組合を中心とした伝統工芸の技術継承を促しています。熊地区文化展を通じて実際に販売されている商品や体験で少しでも興味を持ってもらい活性化や未来の職人・伝統を守るきっかけになってくれればとの思いで今年の特別企画とさせていただきます。

特別企画「有松絞り」実際のブランドファッションの展示や有松絞り体験など皆様が伝統に触れるきっかけとなる体験ブースをご用意いたしました。

【特別企画】 伝統工芸 有松絞り展示



今年も多くの出展があり、熊公民館を文化で飾っていただけました。
書をはじめとした、絵画・写真。手芸や伝統工芸といった様々な分類の
アートが出展されました。

またデイサービスこだま様・能力活性サークル様・神谷書道教室様
熊老壮会・熊子ども会・結いの会・熊地区ふくし連絡会・趣味の会の
地域施設・団体の応募もあり子どもからご年配の方までの作品が
一斉に並び、今年のテーマでもある「世代を超えアートでふれあう」
素晴らしい二日間になりました！



城主薄齊郡太守君皇胤之中卓
變親純綺超帳太和中起家為奉
優遊雅素逍遙集年始弱冠 赤山



熊地区HPから過去の広報誌も閲覧できます
スマホからでも閲覧できます

<http://kumakouminkan.sakura.ne.jp/>



今年ももちろん皆様が楽しめるブースもご用意！

お食事



フランクフルト



お団子



飲み物提供



アルファ米試食



お茶

バルーンアート



昔の手作りおもちゃ



ポンポンカーリング



スタンプラリー



チョークアート



無料休憩所



伝統工芸 有松絞り体験

伝統を守り続ける職人から子供達へ直接絞り方を伝授



体験を通して世界で一つしかない自分たちの作品作り！
世代を超え、有松絞りを体験し日本の伝統にふれました。
内田館長は自前のバックまでも染めていました（笑）

